

2024年度  
特別展

會津八一と

2024.  
10/1<sup>火</sup>  
〜  
12/8<sup>日</sup>  
10:00 > 18:00  
(17:30まで受付)

# 大和路

入江泰吉・杉本健吉とともに

会場 新潟市會津八一記念館 (新潟日報メディアシップ5F)

休館日 月曜日(ただし祝休日の場合は翌日)

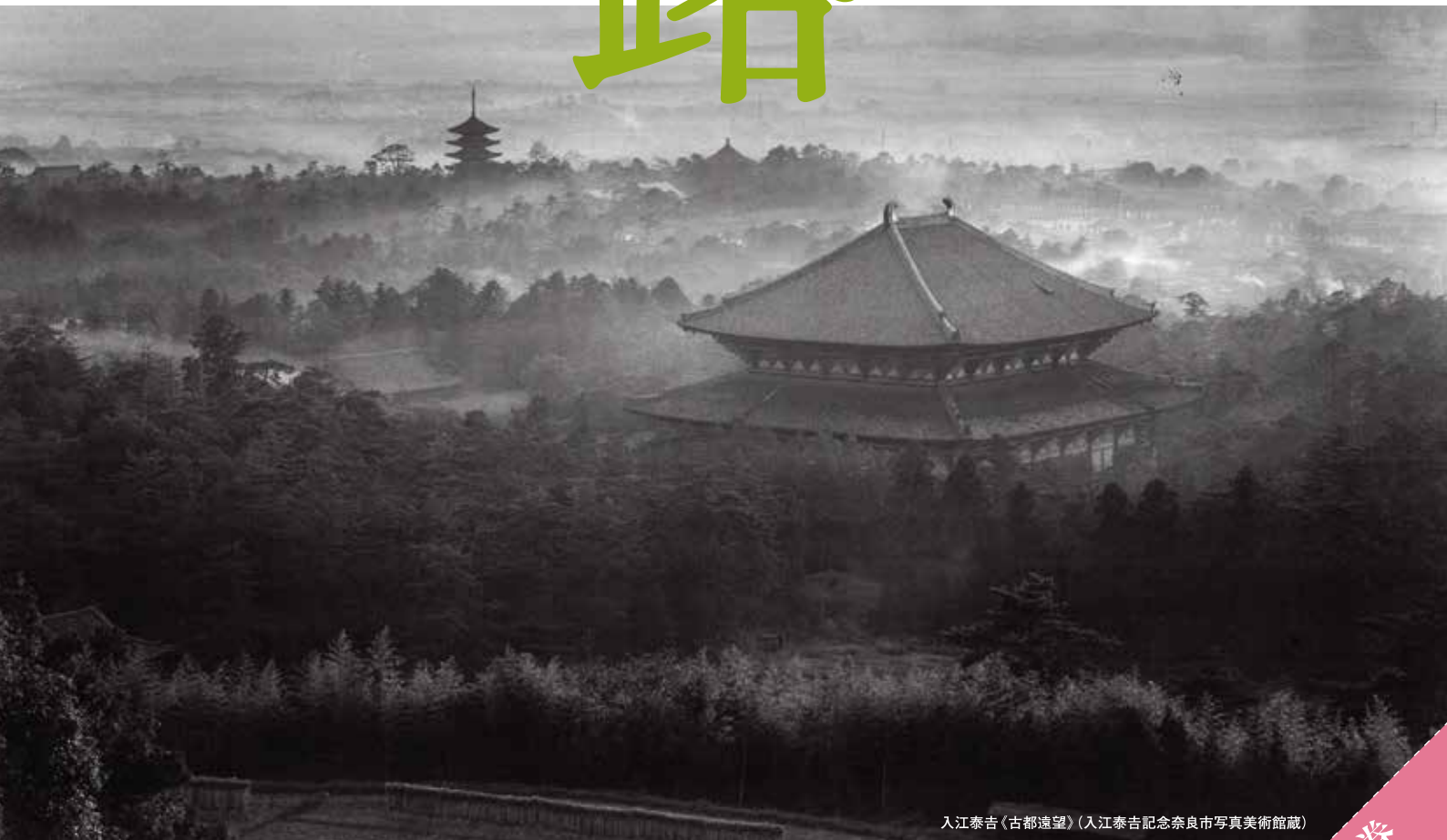
観覧料 一般600円、大学生300円、高校生200円、小中学生100円

※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

主催 新潟市、新潟日报社、BSN新潟放送、公益財団法人會津八一記念館  
協力 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造  
後援 朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、  
産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、  
時事通信社新潟支局、NHK新潟放送局、NST新潟総合テレビ、  
TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21



杉本健吉《春日野鹿》  
(奈良県立美術館蔵)



入江泰吉《古都遠望》(入江泰吉記念奈良市写真美術館蔵)



AIZU YAICHI  
MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館 TEL.025-282-7612  
(10:00~18:00)  
〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5F  
<https://aizuyaichi.or.jp>



入場割引券  
■本券持参で2名様まで  
2割引引きになります  
■他の割引との併用不可  
■2024.12.8まで有効



# 大和路

入江泰吉・杉本健吉とともに

**奈良大和路を愛した歌人、書家、東洋美術史家の會津八一(1881~1956)は、その学識と芸術で同時代の多くの芸術家を刺激し、影響を与えています。中でも写真家・入江泰吉(1905~1992)、画家・杉本健吉(1905~2004)は、八一の学芸に心酔し、奈良大和路をテーマに多くの名作を残した人物と言えるでしょう。**

3人の出会いは戦後の昭和21(1946)年。文化人たちが集った東大寺観音院で親交を深めました。杉本は八一と書画集『春日野』を刊行するなど合作を多く残し、八一没後も関連作品を発表しています。また、入江も八一の短歌と自ら撮影した写真を組み合わせた書籍を刊行し、奈良市の法

華寺に八一の歌碑「ふちはらの」を建立するなど、終生敬慕の念を抱いていました。

彼らの活動を見守った東大寺観音院の住職・上司海雲(かみつかさ・かいうん、第206世東大寺別当、1906~1975)は「奈良に関しては、やっぱり歌では會津八一さん、絵では杉本健吉さん、写真では入江さん、これは動かせんことだな」と称賛しています。

本展では奈良県立美術館と入江泰吉記念奈良市写真美術館の協力を仰ぎ、會津八一との合作や3者各々が独自の感性で表現した奈良大和路の美を紹介します。



- 1 奈良・東大寺観音院にて 撮影:入江泰吉(右上/會津八一、中央/上司海雲、右下/入江泰吉、左下/杉本健吉)
- 2 杉本健吉《古都春雨》(奈良県立美術館蔵)
- 3 入江泰吉《斑鳩の里落陽》(入江泰吉記念奈良市写真美術館蔵)
- 4 入江泰吉《法華寺十一面観音像》(入江泰吉記念奈良市写真美術館蔵)
- 5 杉本健吉《金銅仏・みほとけの「骨皮帖」より》(奈良県立美術館蔵)
- 6 會津八一《おほてらの》(BSN新潟放送蔵、新潟市會津八一記念館寄託)
- 7 會津八一《菩薩図・はつなつの》(新潟市會津八一記念館蔵)

※展覧会期間中、作品保護のため展示替えを行います。

## information イベント情報



### 【トークイベント】 事前申込制 響き合うこと

【出演者】 松村雄基氏(俳優・書家)  
角田勝久氏(新潟大学教授)  
【日時】 2024年10月19日(土) 14:00~15:30  
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2F)  
【聴講料】 1,500円(入館料込み) 【定員】 120名

### 【講演会】 入江泰吉と杉本健吉の大和路 事前申込制

【講師】 説田晃大氏(入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員)  
【日時】 2024年10月29日(火) 14:00~15:30  
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2F)  
【聴講料】 1,000円(入館料込み) 【定員】 100名

### 【ワークショップ】 書の体験講座「年賀状」 事前申込制

【講師】 田中藍堂氏(新潟県書道協会副理事長)  
狩野芳明氏(新潟県書道協会事務局長)  
【日時】 2024年11月15日(金) 14:00~16:00(予定)  
【会場】 ナレッジルーム(新潟日報メディアシップ6F)  
【聴講料】 1,500円(入館料込み) 【定員】 40名

### 野中吟雪館長による作品鑑賞会

【日時】 2024年12月1日(日) 14:00~ 約50分  
【会場】 會津八一記念館 展示室(申込不要/要当日観覧券)

### 学芸員による作品解説会

【日時】 会期中の毎週日曜日 11:00~ 約50分  
【会場】 會津八一記念館 展示室(申込不要/要当日観覧券)

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

- ▶ 10月1日~11月4日: 佐藤奎玉先生(新潟県書道協会副会長/長岡市)
- ▶ 11月6日~12月8日: 石塚瑞雨先生(新潟県書道協会参事/上越市)

### 【申込方法】

※左記イベントの聴講、参加をご希望される方は、専用申込フォームか往復はがきのいずれかでお申し込みください。往復はがきの場合、参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館までお送りください(ただし1通につき1イベント、1名様でのご応募といたします)。定員に達し次第締め切ります。



専用申込  
フォームは  
こちら



## 新潟市會津八一記念館

- ◎交通のご案内: 新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分
- ◎駐車場の案内: 新潟日報メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分)
- ※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

